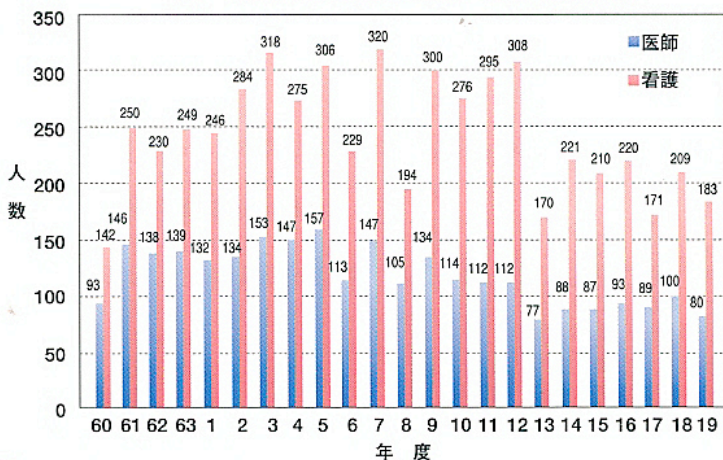


洋上救急慣熟訓練

洋上救急で患者の診察や治療にかかわる 医師や看護師の方々が、実際に出動する際の不安や過度の緊張を解消し、現場で冷静に対処できるようにするための一助として、巡視船・ヘリコプター等の航空機に同乗し、実際の設備や騒音、動揺、狭隘スペースの状況と各種の注意点を体験するとともに医師等と救助関係者の疎通を図って円滑な業務遂行をして頂くため、洋上救急の慣熟訓練を実施しております。平成19年度においては海上保安庁の全面的な支援を受け全国20地区において訓練が実施されました。

洋上救急事業の開始された昭和60年10月以降の慣熟訓練には、医師2,694名、看護師5,606名の方々が参加しております。各年度に医師等の参加状況は図1のとおりです。

図1 洋上救急慣熟訓練の医師・看護師参加状況



巡視船船内での説明



ヘリコプターの機内の状況の説明



ヘリコプターの搭乗慣熟訓練



患者吊上げ状況の説明



巡視船船内設備等の説明



運用指令センターでの説明